

第13回宇宙開発委員会(定例会議)

議 事 次 第

1. 日 時 昭和60年7月10日(水)

午後2時～2時30分

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題 大型静止衛星の開発に関する審議について

4. 資 料

委13-1 第9回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)

委13-2 第10回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)

委13-3 第11回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)

委13-4 第12回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)

委13-5 大型静止衛星の開発に関する審議について(案)

第9回 宇宙開発委員会（定例会議）
議 事 要 旨 （案）

1. 日 時 昭和60年5月8日（水）
午後2時～2時15分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 M-3SⅡロケット1号機及び試験惑星探査機
(MS-T5)の打上げ結果の評価について
4. 資 料
委9-1 第8回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委9-2 M-3SⅡロケット1号機及び試験惑星探査機
(MS-T5)の打上げ結果の評価について（報告）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

“ 委員

“ “

“ “

吉 識 雅 夫

斎 藤 成 文

井 上 啓次郎

大 塚 茂

説明者

宇宙開発委員会第四部会長

関係省庁職員等

科学技術庁長官官房審議官

外務省国際連合局外務参事官

佐 貫 亦 男

三 浦 信

瀬 崎 克 己

（代理：諫山）

運輸省海上保安庁総務部長

“ 気象庁総務部長

文部省宇宙科学研究所研究協力課

宇宙開発事業団計画管理部計画管理課

廣 瀬 好 宏

（代理：成瀬）

新 谷 智 人

（代理：中村）

秋 元 春 雄

国 井 清 人

他

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課

“ “ 宇宙国際課長

“ “ 宇宙開発課長

田 中 幸 人

森 忠 久

鍵 本 潔

他

6. 議 事

（1） 前回議事要旨の確認

第8回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨案（資料委9-1）が
確認された。

（2） M-3SⅡロケット1号機及び試験惑星探査機（MS-T5）の
打上げ結果の評価について

佐貫亦男第四部会長より、資料委9-2に基づき説明が行われ
たのち、第四部会報告書が了承された。

第10回 宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨 （案）

1. 日 時 昭和60年5月15日（水）

午後2時～3時

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題 放送衛星2号について

4. 資 料

委10-1 放送衛星2号-b（BS-2b）の試験状況及び打上げについて

5. 出 席 者

宇宙開発委員会委員長

〃 委員長代理

〃 委員

〃 〃

〃 〃

説明者

宇宙開発事業団理事長

〃 理事

竹 内 黎 一

吉 識 雅 夫

斎 藤 成 文

井 上 啓次郎

大 塚 茂

大 澤 弘 之

船 川 謙 司

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

〃 長官官房審議官

文部省学術国際局審議官

通商産業省機械情報産業局次長

〃 工業技術院総務部長

運輸省大臣官房審議官

〃 気象庁総務部長

〃 海上保安庁総務部長

郵政省通信政策局次長

宇宙開発事業団計画管理部計画管理課

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

〃 〃 宇宙国際課長

〃 〃 宇宙開発課長

内 田 勇 夫

三 浦 信

植 木 浩

（代理：大島）

棚 橋 祐 治

（代理：小林）

荒 尾 保 一

（代理：池川）

大 塚 秀 夫

（代理：谷）

新 谷 智 人

（代理：金子）

廣 瀬 好 宏

（代理：成瀬）

森 本 哲 夫

（代理：田中）

国 井 清 人

他

石 井 敏 弘

森 忠 久

鍵 本 潔

他

6. 議 事

放送衛星2号について

大澤宇宙開発事業団理事長より、資料委10-1に基づき説明が行われたのち、竹内委員長より次のような発言があった。

竹内委員長 ただ今、事業団よりBS-2bの試験を、より慎重に行うこととした結果、夏期の打上げを延期せざるをえないとの判断をしたことについて報告を受けたが、宇宙開発委員会としても、放送衛星に対する国民の期待の大きさを考えると、計画どおりに打上げができないことは、遺憾ではあるが、やむを得えないものとする。

事業団においては、引き続きBS-2bの試験を十分慎重に行い、打上げには万全を期するとともに、できる限り早期に打ち上げるよう全力を尽し、国民の期待に応えられたい。

なお、この延期に伴う宇宙開発計画の見直しについては本委員会及び関係部会において、今後、審議をしていくこととしたい。

第11回 宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨 （案）

1. 日 時 昭和60年6月19日（水）

正午～12時10分

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題 放送衛星2号-b（BS-2b）中継器に講じた対策及び確認試験結果の評価報告について

4. 資 料

委11-1 放送衛星2号-b（BS-2b）中継器に講じた対策及び確認試験結果の評価について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

〃 委員長代理

〃 委員

〃 〃

〃 〃

竹 内 黎 一

吉 識 雅 夫

斎 藤 成 文

井 上 啓次郎

大 塚 茂

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

内 田 勇 夫

〃 長官官房審議官

外務省国際連合局外務参事官

文部省学術国際局審議官

運輸省大臣官房審議官

〃 気象庁総務部長

郵政省通信政策局次長

建設大臣官房技術審議官

宇宙開発事業団計画管理部計画管理課

事務局

科学技術庁研究調整局調整課長

〃 〃 宇宙企画課長

〃 〃 宇宙国際課長

〃 〃 宇宙開発課長

三 浦 信

瀬 崎 克 己

（代理：諫山）

植 木 浩

（代理：大島）

大 塚 秀 夫

（代理：大松）

新 谷 智 人

（代理：中村）

森 本 哲 夫

（代理：田中）

杉 山 好 信

（代理：西）

国 井 清 人

他

松 下 弘

石 井 敏 弘

森 忠 久

鍵 本 潔

他

6. 議 事

放送衛星2号-b（BS-2b）中継器に講じた対策及び確認試験結果の評価について

吉識 放送衛星対策特別委員会座長 及び 斎藤 同委員会技術小委員会
座長より、資料委11-1に基づき説明が行われたのち、竹内 委員長よ
り、次のような発言があった。

竹内委員長 　ただ今、放送衛星対策特別委員会より、BS-2b 中継
器に講じた対策及び確認試験結果の評価について報告を受
けたが、宇宙開発委員会として、これを了承することとい
たしたい。

　今後、BS-2b については、宇宙開発事業団において、
その打上げ準備全般にわたり、十分慎重を期して所要の作
業を進めてもらいたい。

第12回 宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨 （案）

1. 日 時 昭和60年7月3日（水）
午後2時～2時30分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 委員長代理の指名について
(2) 第10号科学衛星(PLANET-A)の打上げ
計画について
(3) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について
4. 資 料
 - 委12-1 昭和60年度第一次観測ロケット実験計画概要
(SESノートK-No.712)
 - 委12-2 M-3SⅡ-2号機の実験
(SESノートK-No.713)
 - 委12-3 M-9M78号機による観測
(SESノートK-No.714)
 - 委12-4 宇宙開発計画の見直しに関する審議について(案)
 - 委12-5 関係各機関における宇宙関連研究開発進捗状況
 - 委12-6 宇宙開発計画(昭和60年3月13日決定)の見直しに關
する要望事項

委12-7 昭和60年度宇宙開発委員会第一部会審議スケジュール
(案)

委12-8 宇宙開発委員会第一部会構成員(昭和60年6月現在)

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

竹 内 黎 一

〃 委員長代理

井 上 啓次郎

〃 委員

斎 藤 成 文

〃 〃

大 塚 茂

〃 〃

吉 山 博 吉

説明者

文部省宇宙科学研究所教授

林 友 直

〃 〃 〃

伊 藤 富 造

〃 〃 〃

松 尾 弘 毅

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

内 田 勇 夫

〃 長官官房審議官

川 崎 雅 弘

外務省国際連合局外務参事官

瀬 崎 克 己

(代理：諫山)

文部省学術国際局審議官

植 木 浩

(代理：大島)

通商産業省機械情報産業局次長

棚 橋 祐 治

(代理：数井)

運輸省大臣官房審議官

〃 気象庁総務部長

〃 海上保安庁総務部長

郵政省通信政策局次長

文部省宇宙科学研究所

宇宙開発事業団計画管理部計画管理課

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

〃 〃 宇宙国際課長

〃 〃 宇宙開発課長

櫻 井 勇

(代理：原)

新 谷 智 人

(代理：中村)

廣 瀬 好 宏

(代理：成瀬)

森 本 哲 夫

(代理：田中)

渡 辺 清

国 井 清 人

他

石 井 敏 弘

中 村 方 士

鍵 本 潔

他

(3) 宇宙開発計画の見直しに関する審議について

事務局より、資料委12-4、委12-5、委12-6、委12-7及び委12-8に基づき説明が行われたのち、第一部会への審議付託が原案どおり決定された。

6. 議 事

(1) 委員長代理の指名について

竹内 委員長より、委員長代理に 井上 委員が指名された。

(2) 第10号科学衛星(PLANET-A)の打上げ計画について

林 友直、伊藤 富造、松尾 弘毅 文部省宇宙科学研究所教授より、資料委12-1、委12-2及び委12-3に基づき説明が行われたのち、第10号科学衛星(PLANET-A)の打上げ計画が了承された。

大型静止衛星の開発に関する審議について(案)

昭和60年7月10日

宇宙開発委員会
決 定

大型静止衛星の開発に資するため、次により調査審議を行う。

1. 宇宙開発政策大綱に基づき、人工衛星の大容量化への需要に対処する大型静止衛星の開発を円滑に推進するため、これに必要となる技術及び今後の開発の進めかたについて調査審議を行う。
2. 調査審議は第二部会において行い、昭和60年8月中旬までに終えることを目途とする。

宇宙開発委員会第二部会構成員(案)

部 会 長	宮 憲 一	国際通信施設(株)社長
部会長代理	武 田 峻	科学技術庁航空宇宙技術研究所長
専 門 委 員	秋 葉 鐔二郎	文部省宇宙科学研究所教授
	上 田 義 矩	郵政省電波研究所次長
	内 田 茂 男	名城大学理工学部教授
	金 窪 敏 知	建設省国土地理院長
	倉 谷 健 治	文部省宇宙科学研究所教授
	小 林 繁 夫	東京大学工学部教授
	城 水 元次郎	日本電信電話(株)研究開発本部長
	鈴 木 昭 夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所角田支所長
	曾 田 長一郎	通商産業省工業技術院機械技術研究所次長
	竹 中 幸 彦	宇宙開発事業団理事
	田 畑 淨 治	宇宙開発事業団理事
	長 洲 秀 夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所科学研究官
	西 周 次	運輸省電子航法研究所衛星航法部長
	野 村 民 也	文部省宇宙科学研究所教授
	平 山 博	早稲田大学理工学部教授
	前 田 弘	京都大学工学部教授
	森 川 汎 士	(社)経済団体連合会開発部長
	矢 橋 幸 一	日本放送協会専務理事技師長
	吉 田 泰 治	運輸省気象庁気象衛星センター所長
	寄 水 義 雄	宇宙開発事業団理事